

参 考

破断伸び（伸び）の推定：試験片の破断位置が（13）の（B）の場合に標点間の中央で切断した場合の破断伸び（伸び）の値を推定（以下推定値という）するにはつぎの方法による。

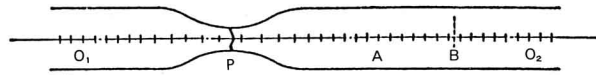


図 5 - 4

- ① あらかじめ標点間を適当な長さに等分し、目盛りをつける。
- ② 試験後、破断面をつき合わせて短い方の破断片上の標点（ O_1 ）の破断位置（ P ）に対する対称点に最も近い目盛り（ A ）を求め、 $O_1 A$ 間の長さを測定する。
- ③ 長い方の破断片上の標点（ O_2 ）と A との間の等分数を n とし、 n が偶数のときは $(n-1) / 2$ 番目の目盛りと $(n+1) / 2$ 番目の目盛りとの中点を B として、 $A B$ 間の長さを測定する。

$$\text{指定値} = \frac{O_1 A + 2 A B - \text{標点距離}}{\text{標点距離}} \times 100$$